

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、Levy財務相の辞任観測が再び浮上した他、今年の財政目標引き下げに対する警戒感が高まったことを背景に、取引序盤はレアル安が進行。一時3.93台前半までレアル売りが優勢となった。「Levy氏の後任候補に、元大統領首席補佐官であるAntonio Filho氏が検討されている」との内容がルセフ大統領側近の発言として一部地元紙で報じられたことで、投資家の間でLevy氏が再び辞任する可能性があるとの懸念が高まった。また、マーケット引け後にはBarbosa予算企画相が、「今年のプライマリーバランスは518億レアル(対GDP比で0.85%)の赤字となり、状況次第ではさらに拡大する恐れがある」との見通しを公表。政府が年内に国営銀行に対する債務返済を決めた場合や、11月に予定している水力発電所運営権の売却入札が不調に終われば、赤字が一段と増える可能性があるとの見解を示した。財政目標の下方修正についてはマーケットにかなりの程度織り込まれていると推測されるものの、具体的な水準が政府から示されたことは、同国の追加格下げのリスクを高め、レアルの重石となろう。

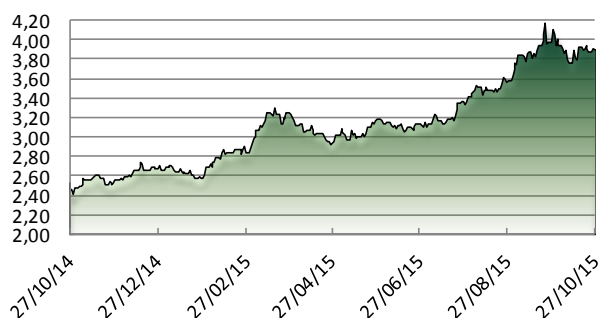
本日FOMCの声明文が公表されるが、足許の軟調な経済指標や世界経済全体の減速懸念の高まりを考慮すると、本会合自体のイベント性は低いというのがマーケットの大方の見方となっている。仮に声明文がタカ派に傾いた場合(年内利上げを示唆)、ドル高がレアル安をさらに加速させるシナリオが想定される。

マーケットデータ

Indicator		Unit	10月26日	10月27日	前日比	9月25日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,9072	3,8886	-0,0186	3,9755	-0,0869
	対円	JPY	31,00	30,98	-0,02	30,35	+0,63
	対ユーロ	BRL	4,3180	4,2933	-0,0247	4,4513	-0,1580
円	対ドル	JPY	121,10	120,46	-0,6400	120,59	-0,1300
	対ユーロ	JPY	133,91	133,09	-0,82	135,03	-1,94
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	47.209	47.043	-166	44.831	+2.212
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	451,7	445,0	-6,7	487,6	-42,6
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	15,89	15,68	-0,21	15,88	-0,20
DI Future Jan17 (金利先物)		%	15,32	15,22	-0,10	15,59	-0,37
3 Months US Dollar Libor		%	0,323	0,323	+0,000	0,326	-0,003
CRB Index (国際商品指数)		Index	192,3	191,3	-1,0	195,7	-4,4

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

